



# 事業所通信No.170

特定非営利活動法人はちくりうす  
 東京都目黒区鷹番3-14-9  
 Tel : 03-3793-3012  
 Fax : 03-5856-6700  
 E-mail : office@8curious.or.jp  
<https://www.facebook.com/8curious>  
 編集担当：島村喜久恵

## はちくりうす感謝状をもらう！

はちくりうすでは、2016年度から毎年目黒消防署にお願いをして、ヘルパー向けに『普通救命講習』を実施しています。

なんと今回、このことが地域の安全に寄与しているということで目黒消防署より感謝状をいただきました。はちくりうすのサービスの中で役に立つものとして始めた研修でしたが、今まで4回開催することができました。

一回だけではなかなか覚えられず、次の年には忘れてしまう事柄も多くありましたが、繰り返すことで少しずつ身についてきたような気がします。この講習で感じたことは、まず慌てないことだな、と思います。もちろん一刻一秒を争う事態であることには違いがないのですが、手伝ってもらえそうな人を探すことだとか、安全を確保するだとか、感染症に気を付けるだとか、とにかく落ち着いて行動がとれるかが大事な気がします。そしてそれは何度も繰り返し訓練することで身につくものです。



私自身はまだ実際に救命の場面に出会ったことはありませんが、最近では台風や地震など予想を超えるような災害が他人ごとではなく、身近なものになってきています。私たちのサービスの場面だけでなく、このような知識と技術を身につけることで、災害時にも役に立つのではないのでしょうか。ヘルパーの皆さんも、まだ受けたことのない方は、ぜひ講習を受けてみてください。一度受けていても繰り返すことで確実に身につきますので2回目、3回目の方も歓迎です。今年はコロナの影響で今のところ未定ですが、可能であれば開催したいと思います。

## 多様性を育む 『ダンス&美術プロジェクト』

西岡さんからのご紹介です。障害のある方とともにお互いの創造性を触発していくプロジェクトです。

今回は絵画や造形などの美術のワークショップです。

最近、アールブリュットと称された現代美術の手法も取り入れた障害者の作品が展示されるようになりました。島村も先日、東京大学美術館での「あるがままのアート」という展覧会で溢れる色彩と緻密な作品に圧倒されてきました。

障害者はもちろん、このような企画のファシリテーターに興味がある方の参加も募集しています。

詳しくは

<https://paralymart.or.jp/wp-content/uploads/2020/09/21236851315f6075c22e0ee.pdf>

連絡先はクリエイティブ・アート代表 伊地知 (03-6426-5182)



## 父の終活、 息子の未来

先月通信に載せた鈴木隆太郎さんも出演する日テレの『every』で9月に放送予定でしたが、放送時間が延期になりました。

予定が決まり次第、ホームページにて告知いたします。

# 「初任者研修のすすめ」

4年ほど前に、はちくりうすで受講費のサポートをいただき、初任者研修を受けました。それまでは月にほんの数回のガイドのみ。キャリアアップしたいという気持ちも多少はありましたが、「いずれ親の介護に役立つかも」「自己負担なく資格が取れる」ぐらいの単純な気持ちでした。

スクールは自分で選ぶ必要があったので、学芸大学に会場がある「ベネッセスタイルケア」に申し込みをしました。週2回、15回コースのスタートです。朝から夕方まで授業なんて久しぶりでついていけるか心配でしたが、初日に顔を合わせたメンバーは同年代のおばさまばかり。しかも通常は10名以上のクラスになるはすが、このクラスに関しては4名のみでスタートで、和気あいあいと楽しい授業になりました。最後に全員で修了証を受け取った時は喜びもひとしお！余談ですが、メンバーのお1人をはちくりうすにお誘いしまして、今でも一緒にお仕事しています(^)

初任者研修取得後はすぐにお仕事が入ってきました。入浴介助を中心に一気に4~5名の利用者さんとはじめましてです。利用者さんの中には身体に麻痺のある方もいて、支援のやり方、コミュニケーションの取り方に始めは戸惑いましたが、言葉をほとんどしゃべれない方でも、支援を重ねていくうちに利用者さんの伝えたいことが大体分かってくるんです。不思議ですね。居宅支援ということもあり、利用者さんのご家族ともゆっくり話す機会が増えました。雑談で盛り上がり、仕事しているのか、おしゃべりしに来ているのかとを感じる日も…。ご家族の皆さまにも雑談をはじめ、気になっていることや不安に思っていることをヘルパーに聞いてもらえることで気持ちが楽になっていただけたら嬉しいです。又、居宅支援の中には調理支援もあります。私は特別に料理が好きでも得意でもありませんでしたが、主婦のやる料理ぐらいならと軽く引き受けました。しかし！利用者様のお宅のその日の冷蔵庫の食材を確認し、そこから何か料理をする。というのは難関…半ベソかきそうになった日もありましたが、これも慣れ。迷った時はスマホに食材を入力して検索すれば、クックパッドさんがたくさんのレシピを教えてくださいました。その結果、我が家では作ったこともない新しいレシピがたくさん生まれました。気に入ったレシピは自宅でも再度作り、家族にも料理が上手くなったと褒められています。実話です！

居宅支援も慣れてきた頃、チューブを付けた利用者さんとの出会いがありました。チューブから栄養を取ったり、時には痰吸引も必要です。支援中に痰がからんで苦しそうにしているもご家族に任せるばかりではおろおろするばかり。この出会いが喀痰吸引研修（いわゆる3号研修）を取るきっかけになりました。介護職でも資格を取れば一定の条件はありますが、痰吸引等の医療的行為をすることができます。実際には今でも吸引はご家族がされていますが、いざという時や知識として頭に入れておくだけでもだいぶ違うと思いました。3号研修も2日間の講習と利用者さん宅での看護師による実地研修で無事に取得終了いたしました。

私はキャリア志向でも資格マニアでもありません。全てこの仕事を通じて…又、出会った利用者さんが私の気持ちを変えてくれました。迷っている方、興味を持っている知り合いの方がいらっしゃいましたら「初任者研修」…ぜひお薦めいたします！

(根間)



## 月例会

参加をお待ちしています。  
事務所でもズームでも！

10月

10月9日(金) 10時~12時

- ズーム会議 参加方法は参加者にメールします。
- 情報共有、他

11月

11月13日(金) 10時~12時

- ズーム会議 参加方法は参加者にメールします。
- 虐待防止研修

### 編集後記

さて、今、観たい映画がある。

政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男たちの実話を元にしたフランス映画「スペシャルズ」。草なぎ剛の演ずるトランスジェンダーの風沙と育児放棄にあった少女の交流の物語「ミッドナイトスワン」。どちらも上映しているうちにいなくなっちゃ。「ミッドナイトスワン」歩いて行ける映画館だから楽なのよね。スワンといえば、マシューボーン演出のコンテンポラリーバレエ「スワンレイク」。生きることに疲れ、絶望した王子の前に現れた1羽の白鳥。ユーチューブで検索すると綺麗な画像で1時間の映画で見られます！（島村）